

工業用水道事業会計決算

平成21年度 公営企業の決算状況をお知らせします

366万円の

単年度黒字

平成21年度は、前年度と同数の25事業所に給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所の使用水量が増加したため、前年度に比べ6%の伸びとなりました。

収支は、収入が前年度より10万円増の4,336万円、支出が前年度より1,344万円減の3,970万円となり、366万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金返済に充てるため積み立てます。

用語解説(グラフ内)

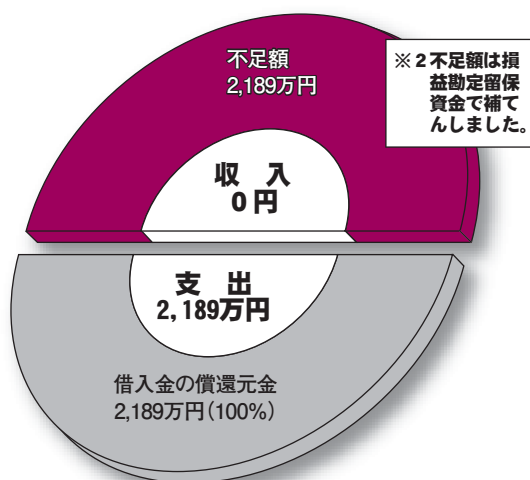
※1 減価償却費

建物など、時の経過などによって資産の価値が減る分を費用として計上します。実際には現金の支出は伴わず、損益勘定留保資金として処理します。

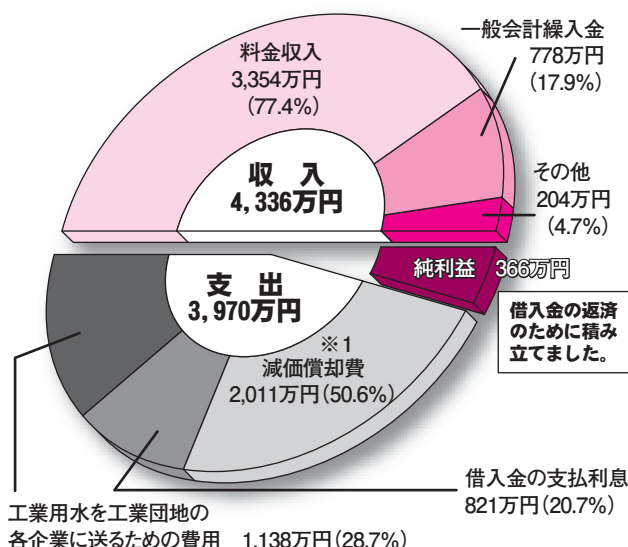
※2 損益勘定留保資金

資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費等の現金支出を伴わない経費を蓄積した資金です。

資本的収支(消費税込み) (施設の整備に関する収支)

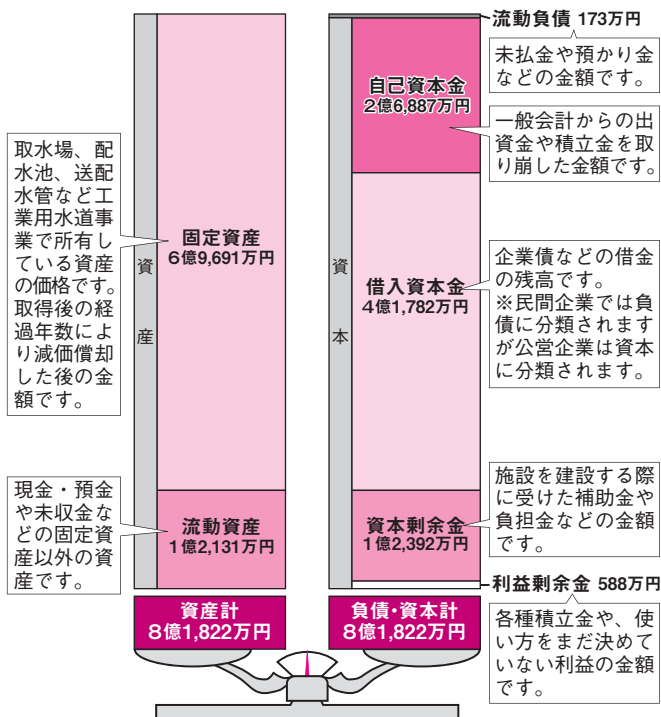


収益的収支(消費税抜き) (事業の運営に関する収支)



平成21年度 大館市工業用水道事業貸借対照表

(平成22年3月31日現在)



給水状況

給水事業所数	25事業所
配水能力	5,300m ³ /日
年間総配水量	1,122,367m ³
1日最大配水量	3,949m ³
1日平均配水量	3,075m ³

年間配水量の推移

